



膝の痛みがあり整形外科を受診した結果、末期変形性膝関節症と診断され、保存療法を受けていますが、なかなか症状がとれません。治療として人工膝関節全置換術があると聞きましたがどのようなものなのでしょうか？

変形性膝関節症の 治療方法

変形性膝関節症の治療方法は、症状の進行度や痛みの程度によって異なりますが、まずは薬物療法、装具療法、運動療法など、保存療法（手術をしない治療）が基本です。

これらの治療で痛みが取れずに困る場合は、手術的治療の1つとして人工膝関節全置換術があります。

人工膝関節 全置換術について

人工膝関節全置換術とは、変形性膝関節症で痛んでしまった部分、悪くなった関節の表面を内側から外側まで全て取り除いて、人工の関節に

置き換える手術です。

日本整形外科学会監修、変形性膝関節症診療ガイドライン（指針や指標、方向性）2023でも、人工膝関節全置換術は、高齢者の内側および外側の進行した変形性膝関節症には疼痛の軽減、ADL（日常生活動作）の改善に有効で、QOL（生活の質）の向上にも有用であると結論づけられています。保存療法との比較では、疼痛や機能改善で有用性が示されています（1）（2）。

治療の有効性

人工膝関節手術は、重度の変形性膝関節症に対し、痛みを長期間にわたって軽減する有効な治療方法の1つです。

さらに、医療の中でも最も費用対効果の高い治療法の1つであり、関節置換手術の数は近年着実に増加しています（3）。

最後に

これまで整形外科で変形性膝関節症と診断されて保存療法を受けているが、痛みが持続して困っている・治療として一度人工膝関節全置換術の話を聞いてみたい・手術を受けたいなど治療内容や手術の適応について相談がある場合は、整形外科を受診してください。



人工膝関節全置換術とは、変形性膝関節症で痛む部分、悪くなった関節の表面を内側から外側まで全て取り除き、人工の関節に置き換える手術です。変形性膝関節症診療ガイドラインでも有用性が認められています。

【アドバイザー】



島田 佳宏・しまだ よしひろ・平成17年産業医科大学医学部を卒業後、産業医科大学整形外科教室に入局、産業医科大学病院で臨床研修後、長崎労災病院、産業医科大学病院、東京労災病院、新小倉病院など、大学の関連病院を経て令和6年4月からくらで病院整形外科に勤務。日本専門医機構認定整形外科専門医、日本人工関節学会認定医。

参考文献

- （1）『変形性膝関節症診療ガイドライン2023』日本整形外科学会監修 日本整形外科学会診療ガイドライン委員会・変形性膝関節症診療ガイドライン策定委員会編集（南江堂 二〇二三年）
- （2）津村弘「変形性膝関節症の手術療法（人工関節）」『Loco CURE』十巻 一号 五三―五八（二〇二四年）
- （3）眞島任史「変形性膝関節症 2. 人工膝関節全置換術（TKA）」『診断と治療のABC』一二二巻 別冊号 一六八―一七三（二〇一七年）